

あなみず 議会だより

2025 vol. 54

令和7年11月1日発行
石川県穴水町議会



補正予算の概要	2
常任委員会での意見	3
予算決算特別委員会	3~4
議案一覧と採決状況	5~6
一般質問	7~11

補正予算の概要【令和7年度6月補正】

会計	6月補正額	予算額(補正後)
一般会計	6億8,774万円	251億3,874万円
特別会計	国民健康保険	11億232万円
	介護保険	14億8,803万円
	後期高齢者医療	1億8,324万円
企業会計	病院事業 収益的	26億7,241万円
	病院事業 資本的	3億6,608万円
	水道事業 収益的	3億3,641万円
	水道事業 資本的	7億2,084万円
下水道事業	下水道事業 収益的	3億1,607万円
	下水道事業 資本的	27億4,173万円
合計	7億723万円	350億6,588万円

※企業会計は支出額を計上

◆主な事業(一般会計)

○穴水小学校関係施設整備事業

4億8,866万円

建設予定地の用地測量や造成設計費用、既存の埋蔵文化財センター解体費用、校舎を含む体育館、プール、図書館、給食調理場等の複合施設の基本設計及び実施設計

○地域コミュニティ施設等再建支援事業

4,100万円

被災した集会所・神社・寺などの再建に係る費用の一部を、既存の補助率(75%)、上限額(1,200万円)を変更し上乗せ支援
補助率:90% (上限額 2,000万円)

○井戸水水質試験業務委託

52万円

「井戸水マップ」作成に伴い水質検査を実施
対象数:39箇所

○スマート蠣養殖事業

1,406万円

通年出荷を目指し三倍体人工種苗の実証実験を実施

○震災復興大使任命事業

250万円

落語や芸能活動を通し、復興に向かう町の魅力を全国に発信するため復興大使に二代目林家三平氏を任命

○釣り筏更新事業

180万円

観光資源である釣り筏を更新し、海洋レジャーの誘客促進を図る
補助率:石川県 1/2、町 1/4

○携帯電話基地局施設災害復旧工事

1,338万円

被災した基地局の復旧工事
対象基地局:大角間基地局

○太陽光式避難誘導灯改修工事

1,000万円

誘導灯の老朽化したバッテリー交換を行い、夜間の安全確保を図る
対象数:88基

○学校体育館空調設備工事実施設計業務委託

1,606万円

夏の猛暑に対応するための小中学校の体育館に空調設備整備の実施設計費

総務産業建設常任委員会での意見

- 移住定住推進事業で、新たに5区画が穴水ニュータウンに造成され周知が行われているが契約には至っていないとの事。周知の方法や範囲を広げ子育て世帯の定住に繋げて欲しい
- 石川県の事業を活用し、町内の事業者が新たな事業を展開するために申請を行い採択に向け努力されている。町も、上乗せ助成を行うため政策立案の段階で目標値を設定しているが、その値に近づけるよう町商工会とも連携しながら事業者を後押しして欲しい
- 町の空洞化を防ぐため解体跡地の宅地造成支援事業は良いが、民間で実施できない時は町で実施することも視野に入れること

教育民生常任委員会での意見

- 被災建物を公費・自費解体した跡地において、予算化される事業を町外に在住する土地所有者にも広く周知を図り、環境美化の推進に努めること
- 全町民に対し、防災意識の向上を図るために広報活動を積極的に実施して欲しい
- 高齢者の健康維持を図るために、行政や町社会福祉協議会が実施する各種事業に多くの方に参加してもらえるよう声掛けを行い、地域の活性化に繋げて欲しい



予算決算特別委員会



令和6年度一般会計・各特別会計・企業会計の決算を認定しました

会計	歳入	歳出	差引残額
一般会計	319億3,104万円	300億2,873万円	19億232万円
うち、震災関連	229億4,395万円	229億4,395万円	0円
特別会計	国民健康保険	11億1,068万円	10億2,751万円
	公共下水道	8億8,919万円	8億8,919万円
	介護保険	15億2,333万円	15億2,327万円
	後期高齢者医療	1億8,410万円	1億8,404万円
	病院事業 収益的	24億5,304万円	26億5,799万円
企業会計	病院事業 資本的	1億2,419万円	5億1,552万円
	水道事業 収益的	3億1,491万円	3億3,957万円
	水道事業 資本的	5億2,506万円	7億6,180万円
			▲2億3,674万円

令和7年第3回穴水町議会 7月臨時会 議案一覧と採決状況

会期：令和7年7月15日

番号	議案名	可否	摘要
議案第47号	令和7年度穴水町一般会計補正予算（第2号）	原案可決	
議案第48号	穴水町土地開発基金条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第49号	穴水町役場庁舎 令和6年能登半島地震災害復旧工事（建築）請負契約の締結について	原案可決	
議案第50号	令和7年度 令和6年災農地災害復旧事業 4610-6114号（4610-6115号）合併工事をの2請負契約の締結について	原案可決	全員賛成
議案第51号	令和7年度 令和6年災農地災害復旧事業 4610-6123号（4610-6113号ほか）合併工事請負契約の締結について	原案可決	
議案第52号	令和7年度 穴水小学校校舎解体工事請負契約の締結について	原案可決	
議案第53号	財産の取得について（駅西地区、土地 12,460.89 m ² ）	原案可決	

※ 小坂孝純議員、浜崎音男議員は欠席

令和7年第4回穴水町議会 8月臨時会 議案一覧と採決状況

会期：令和7年8月8日

番号	議案名	可否	摘要
議案第54号	令和7年度6災5468号町道丸山線ほか1路線道路災害復旧工事（補強土壁工）請負契約の締結について	原案可決	
議案第55号	令和7年度6災5413号町道東部中央線（その6）道路災害復旧工事請負契約の締結について	原案可決	
議案第56号	令和7年度6災5428号町道宇留地・下唐川線ほか2路線道路災害復旧工事請負契約の締結について	原案可決	全員賛成
議案第57号	令和7年度 令和6年災農地災害復旧事業 4610-6015号（4610-6010号ほか）合併工事請負契約の締結について	原案可決	
議案第58号	令和7年度 向洋小学校災害復旧工事（建築・繰越）請負契約の締結について	原案可決	
議案第59号	財産の取得について（復興公営住宅、（仮）上野団地）	原案可決	

※ 小泉一明議員、浜崎音男議員は欠席

議員活動レポート

議員・監査委員合同研修会

8月26日、県内8町の議員及び監査委員参集のもと研修会がKKRホテル金沢（金沢市）で開始され、「今後の政局・政治の動きを読む」を演題に、読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏が講演を行いました。



現地視察



一体型 シェルター局舎

能登半島地震で被災した能越ケーブル基地局を移転（林業センター横）

委員会での審議

Q&A

A 地震により減免措置が行われたことで、年金天引きから納付書支払いに変更となり、納付が遅れているためである	Q 介護保険料の滞納額が多くなった要因は
A 2社と交渉中である	Q 企業誘致対策事業のサテライトオフィス誘致事業の状況は
A 限られた予算内で多くの分野の図書を購入するため難しい	Q 図書館における新刊購入の際に、複数冊を購入できないか
A 人材不足により難しい	Q B&G体育館に事務員を配置し、いつでも誰でも使用できるようになります
A 当初予算をオーバーしたため、補正予算を組み対応した	Q 学校給食の食材費等に物価高騰の影響はないか

要望事項

- 小児インフルエンザの接種率が年々減少していることに加え、2回目を接種する対象者が減っている。接種を控える要因が費用であれば、助成の検討をお願いする
- 図書館の図書の処理方法の一つとして以前行っていた町民への無償提供を復活させてはどうか
- 穴水町消防団の団員数は、震災前から定員割れの状況が続いているが、地域になくてはならない人材である。広報活動を行い団員確保に努めて欲しい
- 歳入歳出決算書と併せ提出されている「主要施策の成果説明書」には、記載内容に誤りが見られる。十分精査して欲しい



小泉一明議員

インフラ維持に要するコストの確保は

**補助事業を活用し
災害に強いまちづくりを行う**

答 8月20日中居公民館で開催の県政出前講座特別編に馳知事が参加され住民の声を聞かれている。その後、同地区を訪れた際に、工事の方針を示すと説明。その他の地区的護岸についても、元ある状態よりも強固な修復に向け県と協議しながら進める（金谷地域整備課長）

問 海岸部の集落における地殻変動に対する解決策の考えは



答 8月6日の大雨で7路線が通行止め。うち5路線が応急復旧等の対策をとり通行可能に。鹿波松ヶ丘線、藤巻細野線は現在も通行止め。地震関連では、穴水町災害復旧工事発注方針をまとめ、本復旧完了目標を5年とし可能な限り速やかに着手する（金谷地域整備課長）

箇所は 8月末における町内の緊急工事

答 8月20日中居公民館で開催の県政出前講座特別編に馳知事が参加され住民の声を聞かれている。その後、同地区を訪れた際に、工事の方針を示すと説明。その他の地区的護岸についても、元ある状態よりも強固な修復に向け県と協議しながら進める（金谷地域整備課長）

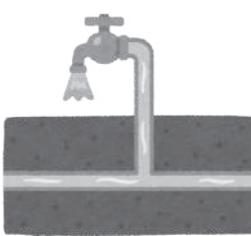


（橋本病院事務局長）

問 情報機器を活用した医師・看護師の業務負担軽減の取組は



答 ICT機器を活用し業務の効率化に向け医療機器の導入を行い、新たな取り組みとしてオンライン診療や遠隔心臓リハビリテーションを行っている。情報収集を行い当院の規模や環境に適応するものを中心に研究し医療DXの推進に努める（橋本病院事務局長）



（吉村町長）

問 インフラ維持に要するコストの確保は



答 インフラによる事故を未然に防止するため、国庫補助事業を活用し施設点検を積極的に実施し、災害に強いまちづくりを行う（吉村町長）

令和7年第5回穴水町議会 9月定例会 議案一覧と採決状況

会期：令和7年9月2日～19日

番号	議案名	可否	摘要
議案第 60 号	令和7年度穴水町一般会計補正予算（第3号）	原案可決	
議案第 61 号	令和7年度穴水町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第 62 号	令和7年度穴水町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第 63 号	令和7年度穴水町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第 64 号	令和7年度穴水町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第 65 号	令和7年度穴水町下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	
議案第 66 号	穴水町定住促進団地宅地貸付及び譲渡に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 67 号	令和7年度6災5412号町道東部中央線（その5）道路災害復旧工事請負契約の締結について	原案可決	
議案第 68 号	令和7年度6災5431号町道下唐川線ほか5路線道路災害復旧工事請負契約の締結について	原案可決	
議案第 69 号	新崎漁港（大規模査定6災1104号ほか）災害復旧工事請負契約の締結について	原案可決	
議案第 70 号	6災5416号町道内浦線道路災害復旧工事請負変更契約の締結について	原案可決	
議案第 71 号	令和6年度穴水町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 72 号	令和6年度穴水町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 73 号	令和6年度穴水町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 74 号	令和6年度穴水町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 75 号	令和6年度穴水町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 76 号	令和6年度穴水町病院事業会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 77 号	令和6年度穴水町水道事業会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 78 号	財産の取得について（小中学校教職員パソコン63台）	原案可決	
報告第 13 号	穴水町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	原案承認	全員賛成
請願第 1 号	能登半島地震被災者の医療費の一部負担免除の再開のための財政支援を求める「意見書」の提出を求める請願	継続審査	全員賛成
議会報告第 4 号	健全化判断比率及び資金不足比率報告書について		
議会報告第 5 号	例月出納検査の結果報告について		
議会報告第 6 号	令和6年度（一財）穴水町文化・スポーツ振興事業団事業報告及び収入支出決算書の報告について		

※小坂孝純議員、浜崎音男議員は欠席



宮本 浩司 議員

新穴水小学校校舎のセキュリティ対策は

安全確保を前提とした施設整備を進める



問 社会教育施設の現状と今後は
答 24施設のうち22施設が被災し陸上競技場などを除く18施設で優先順位を定め災害復旧を行う。ブールやフィットネスジムは、新穴水小学校校舎の建設に合わせ整備方針を示す（大間教育長）

問 新穴水小学校校舎のセキュリティ対策は
答 被災地支援の方々の宿泊先として石川県が整備し、町が無償で令和11年まで土地を貸付。事業主体は（一社）能登半島仮設宿泊所で、能登半島広域観光協会が運営を行うが、一般利用は現状では難しい。駐車場は文化センターの再開状況を踏まえ検討する（宮崎副町長）

問 キャッスル真名井・湯つたり館の今後は
答 専門業者の被害調査を受け、苦渋の決断であるが全て解体撤去の方向である。多方面からの意見を聞き、由比ヶ丘台地一帯での再開発を慎重に進める（吉村町長）

公営施設について

問 キャッスル真名井・湯つたり館の今後は
答 専門業者の被害調査を受け、苦渋の決断であるが全て解体撤去の方向である。多方面からの意見を聞き、由比ヶ丘台地一帯での再開発を慎重に進める（吉村町長）

問 入居条件に「入居者及び同居する者が暴力団員でないこと」とあるが、どのように判断するのか
答 必要に応じ関係機関に確認する。暴力団員と判明した場合は明け渡し請求を行う（金谷地域整備課長）

問 新穴水小学校校舎のセキュリティ対策は
答 悪意を持った不審者の侵入を完全に阻止することは困難であるが、近年の学校建設の事例を研究し、子どもとの安全確保を前提とした施設整備を進めることで検討する（大間教育長）

問 町立図書館の移転が実現された後の施設の活用は
答 シンボルプロジェクト推進チームで検討する（大間教育長）

復興公営住宅について

問 連帯保証人の確保と家賃の滞納が発生した時は
答 連帶保証人の確保は、国土交通省の指針に沿い、入居希望者個々で対応する。2ヶ月家賃の滞納が続いた時は催告書の送付、3ヶ月滞納した時など、悪質な場合は明け渡し請求を行う（金谷地域整備課長）

被災者に対する医療費の一部負担金免除について

問 国民健康保険法第3条の解釈は
答 市町の運営に加え、県も保険者となり財政運営等の責任主体を担う（金谷住民福祉課長）

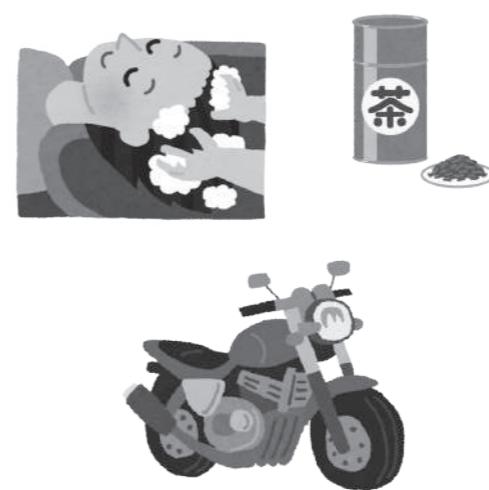
問 自力再建できない65歳以上の所得者世帯に対し年数を設け既往の町営住宅の無償貸与、町民税を非課税とする特例は設けられないか
答 災害公営住宅建設には国庫3/4が充てられ、それは国民の税金である。入居後3年間は低廉な家賃で居住できるが、以降は世帯の収入によって家賃が決定され、税法上負担の公平性が保たれている（金谷地域整備課長）

問 地域のごみステーション設置場所の再検討を
答 集落や町内会など地域で設置し管理している。地域で実情に合った場所を選定し、町に相談して欲しい（小林環境安全課長）

町内事業者に対する支援は

事業者に寄り添った支援の充実を図る

問 町内事業者に対する事業促進支援を
答 被災した事業者が一日も早く事業を再開するため、昨年10月に、仮設商店街などをスマイルマルシェを開業し、9事業者が営業を再開。町単独の上乗せ補助では、穴水町なりわい再生支援補助金で59件、穴水町営業再開支援補助金で17件申請され、現在、約8割の事業者で営業を再開。今回新たな上乗せ補助として、県が支援する町内の小規模事業者及び中小企業が、新たな業種・事業・市場のいずれかにチャレンジする事業について、町単独で自己負担分の1/2、最大50万円を上乗せする穴水町チャレンジ支援補助金を本議会に上程。今後も町の復興への歩みを加速させ、事業者に寄り添った支援の充実を図る（中島観光交流課長）



問 避難所である4公民館のトイレ不足に対する対応は
答 大規模災害時におけるトイレの使用実態などの検証を行い、実用性のある仮設トイレや簡易トイレなどを配備し、災害時の備えを進める。また、今年度改定予定の町地域防災計画の中で、防災備蓄品の配備計画や、公民館の避難所としてのトイレの増設も併せて検討し、住民が安心して避難できるよう努める（小林環境安全課長）



問 住宅の耐震改修を進める周知方法は
答 昭和56年以前の旧建築基準に基づき建築されている住家は、令和7年度課税分2432棟。耐震改修事業に係る補助金を従来の180万円から210万円へ拡充した。詳細を8月の広報及びホームページに掲載し周知を図った（金谷地域整備課長）



問 地域のごみステーション設置場所の再検討を
答 集落や町内会など地域で設置し管理している。地域で実情に合った場所を選定し、町に相談して欲しい（小林環境安全課長）



一般質問 9月定例会

一般質問

9月定例会



山本 祐孝 議員

穴水総合病院の将来の運営は 安定的な医療の提供に向けて取り組む



伊藤 繁男 議員

町所有の集会所の修繕状況は

年度内に殆どの修繕を完了予定

問 奥能登公立4病院機能強化検討会に出席しての意見は

答 地域医療を奥能登で守ることが一番大事である。しかるべき時期に県からの発表を受けて議会に説明する

(宮崎副町長)



小谷 政一 議員

吉村町政の二期目への意欲は 活気あふれる「ふるさと穴水」を 全身全霊で取り戻す

問 吉村町政の一期目振り返り
二期目への意欲は

答 選挙公約のもと、すべての世代が暮らしやすい、住み良い環境を、人口の少ない町、規模の小さい町だから出来る、きめの細かいサービスを考え、町民の安全安心を確保し、未来をくりを一番に町政運営にあたつた。また、町民と協同で考える「未来づくり会議」を7つのテーマで計15回開催し、各層、各世代が、私と町職員と共に、テーマごとの課題解決や活性化に向け語り合い検討してきた。



問 奥能登の玄関口再生は
穴水総合病院の将来の運営は

答 奥能登の玄関口から目的地穴水」となるよう機能の再配置の他、交流・関係人口の拡大などを含め魅力とにぎわいが創出できるような施設整備とし、都市計画マスター・プラン及び立地適正化計画の策定委員会で議論し、計画策定に努める

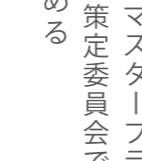
(吉村町長)



問 奥能登の玄関口再生は
穴水総合病院の将来の運営は

答 能登北部医療圏域における医療需要をしっかりと見極め、奥能登公立4病院機能強化検討会において現状や課題を十分に共有する。奥能登の住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、石川県や大学病院、関係市町などと連携を密にし、将来にわたり安定的な医療を提供できる運営体制の構築に向け取り組む

(吉村町長)



問 奥能登の玄関口再生は

問 穴水総合病院の将来の運営は

問 町内の高潮被害状況とその対策方法や進捗状況は

問 町所有集会所の修繕の進捗状況は

問 町有地の宅地化について

問 高齢者に配慮した健康福祉活動を



答 能登有料道路の無料化に合わせ、観光客の市街地誘導により、滞在・交流人口の拡大を図ることを目的とした整備で、市街地周辺の宇留地地区から越の原ICへ向かう町道宇留地越の原線の2車線化整備を実施したことから、計画は頓挫。しかし、災害時でも完全途絶しない道路を確保するため、複数の道路網を機能させることが重要である

(金谷地域整備課長)



答 地域の公民館や集会所などで行われていたサロンやサークル、文化活動などは、震災以降、一時的に休止して得ていたが、住民の理解と協力により、現在では多くの活動が再開。既存施設を有効活用し、世代を超えた交流を促進させ、未来への復興に繋がる取り組みを進める

(宮崎副町長)

答 31施設の全てを現地調査し被災状況を確認。損傷が著しく修繕が困難な4施設は年内に解体予定。残る27施設は、計画的に修繕を進めている。内、16施設は着手済みで年度内には23施設の修繕の完了を見込んでいる。残る4施設は、次年度の完了を予定。また、地区所有の8施設は、「地域コミュニティ施設等再建支援補助金」、「地区集会所再生支援補助金」を適用し全額を公費で負担する

(宮崎副町長)

答 津波や土砂災害危険区域を除いて、宅地として売却できる町有地は、今のところ思い当たらない。住まいの確保は中長期的にも重要な課題であり、復興計画などビジョンを策定した上で、住まいの確保を図っていく

(宮崎副町長)



答 宿泊場所の不足は認識している。現時点での文化センターの早期の再開・再建は大変厳しい状況にある。観光客や帰省者などの宿泊場所の確保は、奥能登の玄関口の再生として、民間企業の誘致などにも取り組む

(宮崎副町長)

(宮崎副町長)

答 社会福祉協議会が実施するおしゃサロンは、現在18ヵ所、住民福祉課が実施する健康教室・介護予防教室は、現在13ヵ所で開催。高齢者のフレイル予防に特化した健康教室は、足腰げんき教室やパワーアップ教室その他、栄養教室なども実施。本年5月からは、被災者の孤立・孤独防止や健康維持を目的に、町の保健師や管理栄養士が被災後の健康管理をテーマに、講話や調理実習、体操、カラオケなどを取り入れた「こんかいねサロン穴水」を仮設住宅の談話室や公民館など13ヵ所で、概ね月1回のペースで開催している

(宮崎副町長)

答 社会福祉協議会が実施するおしゃサロンは、現在18ヵ所、住民福祉課が実施する健康教室・介護予防教室は、現在13ヵ所で開催。高齢者のフレイル予防に特化した健康教室は、足腰げんき教室やパワーアップ教室その他、栄養教室なども実施。本年5月からは、被災者の孤立・孤独防止や健康維持を目的に、町の保健師や管理栄養士が被災後の健康管理をテーマに、講話や調理実習、体操、カラオケなどを取り入れた「こんかいねサロン穴水」を仮設住宅の談話室や公民館など13ヵ所で、概ね月1回のペースで開催している

(宮崎副町長)

答 その一つ「子育て・教育の支援」の提言では、西川島児童公園に大型遊具や公衆トイレを整備。県内の自治体で初となる保育料や小中学校、保育所・認定こども園の給食費完全無償化を行った。

令和6年元旦の地震から、1年8ヶ月が経過した今、自身の責任と役割を考えた時、被災自治体の長として、最大の責務は復興計画を着実に実行することである。再び町民の信頼を賜ることが出来たなら、引き続き町政の舵取り役として、次の4年間には、全ての町民が住みたいところに住めることを目指し、早く元の日常生活を取り戻すべく全力を尽くし、町全体の創造的復興に向け、町民と共に、活気あふれる「ふるさと穴水」に全身全霊を傾けたい

(吉村町長)

答 殆どが山林であり、把握できないう面積・区画数は

(金谷地域整備課長)

答 残りが山林であり、把握できないう面積・区画数は

(金谷地域整備課長)

町民インタビュー 中川 卓也さん

今回は、穴水総合病院に理学療法士として勤務する傍ら、被災後に入居した応急仮設住宅団地の町内会長を務める中川卓也さんです。

Q 被災した自宅と家族の状況は

令和5年に中古住宅を購入し、リフォームしましたが「半壊」と認定されました。

家族は全員無事でしたが、震災当日の夜に実家の愛犬が亡くなり、午後11時過ぎに穴水を出て金沢在住の兄宅へ避難し、兄宅へ着いたのは翌朝の午前5時頃でした。

Q 町内会長はどのように選出されたのか

昨年7月に町内会設立の集会があったのですが、私は石川県復興リハビリテーション支援事業を担当し、日頃から見守り支援活動を行っていたことから、支援活動の延長と捉えて町内会長を引き受けました。

Q 区長・町内会長の中では年齢も若く、勤務していることで町内会長は負担にならないか

正直言うと負担ではありますが、家族や入居者の皆さんとの協力で何とか務めているというのが現状ですし、広報あみみず等の配布が遅れて迷惑をかけているとも思っています。

Q 仮設住宅入居者は知人・友人ばかりではないが苦慮していることは

これまで住んでいた地域を離れて暮らすことで住民同士の繋がりの難しさを感じます。

町内会として少しでも早く繋がりができると思います。



町内会設立集会の様子

Q 仮設住宅団地における課題や問題は

住民同士の繋がりの難しさのほか、高潮による冠水で帰宅困難者の発生や買い物時間が制限される状況であり、仮設住宅ごとで支援が異なるなど公平性に欠けると思います。

また、自家用車を2台所有している入居者は駐車場の確保に苦慮しています。

Q 自身の住宅再建の予定は

昨年12月からリフォームしているのですが、設備や電気の事業者が確保できていません。

なかなか進んでいないのが現状で、いつ完了するのかは未定です。

Q 町や議会に望むことは

若い世代を後押しして、「この町で頑張りたい」「穴水に住みたい」と思うような町づくりを望みます。

全天候型の遊び場など子どもが集い、のびのびと過ごし、ストレス発散になるような環境も整備してもらえばと思います。

（ インタビュー： 小坂 孝純 ）

高校存続の意義、それは生徒の成長の支援・地域の活性化・将来の社会を支える人材育成であることはいうまでもありません。

来年、穴水高校が創立80周年を迎え、10月に記念事業実施の運びとなりましたが、ありがたいことに能越ケーブルで第1回目の実行委員会の様子を放映していただきました。実行委員会は4つの委員会で構成されるのですが、私は同60周年・同70周年に続き、3回目の記念誌編集委員会に属することになりました。

自身の年齢からすると今回が最後の創立記念事業への関わりとなることは明白ですが、存続はもちろん生徒の確保という厳しい現状、そして私より若い同窓生の実行委員会委員就任に対する想定外の「辞退」など、個人的には生徒の確保以外でも今後に心配や不安を感じずにはいられません。

先日、東京での穴水高校同窓会関東支部の総会に出席の折に、関東地区在住の同窓生から現状に対して、「寂しい。穴水に住んでいる皆さんで頑張ってほしい」と激励されました。地域の特色を生かした教育を通じた高校の魅力化が地域の持続的発展には不可欠であると言われて久しい中、多くの同窓生の理解と協力をいただき来年の創立記念事業を迎えるたいと思います。

穴水町議会広報編集特別委員会

文責 宮本 浩司

発行 穴水町議会 編集 穴水町議会広報編集特別委員会
〒927-1860 石川県鳳珠郡穴水町字川島
ラの番地 174
TEL 0768-152-13700

編集後記

あなたみず議会だより



町議会記録は
こちらから▶

